

患者ID:@PATIENTID

2015.6.3作成

@PATIENTNAME様

胃化療(パクリタキセル+サイラムザ)

2021.3.5改訂

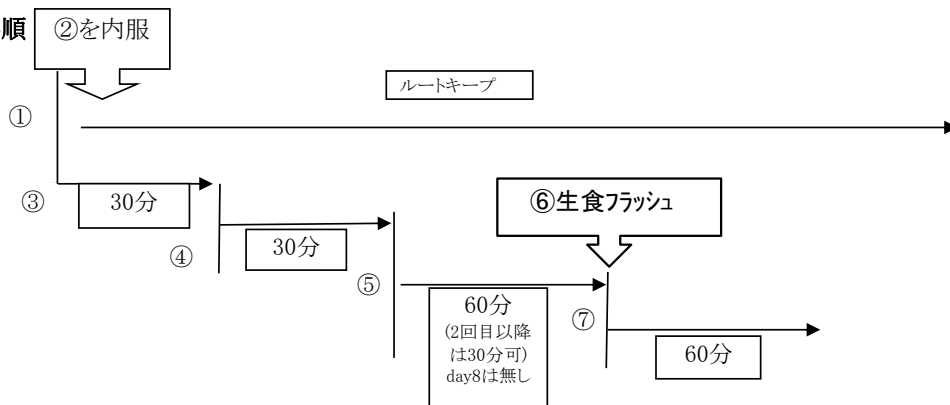
指示者	@USERNAME
コース数	

身長	HEIGHT01_D	cm	
体重	HEIGHT01_I	kg	
体表面積	#VALUE!	m2	(DuBoisの式)

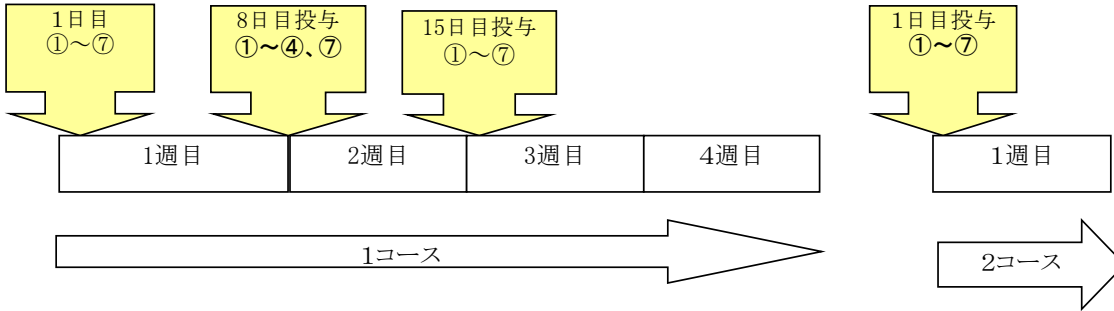
実施印

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	day1	day8	day15
①	生理食塩水500mL	ルートキープ	点滴			
②	レスタミンコーワ5錠		内服			
③	グラニセトロン3mg 1バッグ デカドロン3.3mg 3A	30分	点滴			
④	生理食塩水100mL ファモチジン注 1A	30分	点滴			
⑤	生理食塩水250mL サイラムザ 8mg/kg ()mg/body 最小単位10mg #VALUE! 計算値	60分 (2回目以降は30分でも可)	点滴	フィルター使用		フィルター使用
⑥	生食フラッシュ(ルートキープ分)					
⑦	5%糖液250mL パクリタキセル 80mg/m2 ()mg/body 最小単位10mg #VALUE! 計算値	60分	点滴	フィルター使用	フィルター使用	フィルター使用

投与手順



スケジュール



注意

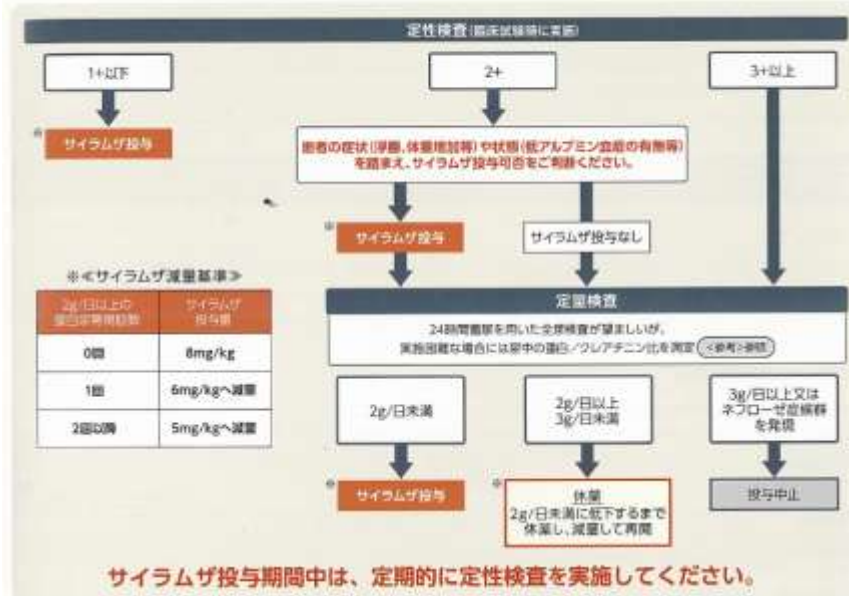
Infusion Reactionに注意
 消化管穿孔、血栓塞栓症、創傷治癒遅延の副作用あり。
 高血圧、蛋白尿に注意

治療成績

RAINBOW試験(2次治療)

OS PTX vs PTX+Ram 7.4ヶ月 vs 9.6ヶ月
 PFS PTX vs PTX+Ram 2.9ヶ月 vs 4.4ヶ月

〔尿蛋白検査及び蛋白尿発現時の対処方法〕



〔参考〕尿中の蛋白/クレアチニン比¹³⁾

随時尿の「尿蛋白/クレアチニン比」は、以下により求めることができます。

尿蛋白/クレアチニン比 = 随時尿の尿蛋白定量結果 (mg/dl) / 尿中クレアチニン濃度 (mg/dl)

〔尿蛋白/クレアチニン比〕のポイント

1日尿蛋白排泄量 (g/日) とほぼ等しい、もしくはよく相関することが知られています。
 尿蛋白/クレアチニン比が 0.3～0.5 の場合、尿蛋白排泄量は 0.3～0.5g/日程度と推定できます。

● Infusion reaction 発現時の対処方法

サイラムザ投与により infusion reaction があらわれた場合には、副作用の症状、程度に応じて以下の対処方法を考慮してください。

(Infusion reaction 発現時のサイラムザの対処方法)

